

J R東日本労働組合 秋田ジャーナル

J R東日本労働組合

秋田地方本部

発行者 ～ 佐藤 俊樹

編集者 ～ 教 宣 部

秋田市中通6丁目7-9秋田県畜産ビル1F

TEL 835-4040 FAX 835-4060



HPはこちら！

新型コロナウイルス回答

1. 風評被害も多く報告されていることから、秋田支社に所属する社員全員のPCR検査を実施されたい。

A. 新型コロナウイルス感染症の対策については、県や関係行政機関と連携し必要な対応を実施してきており、今後も感染防止に向け取り組んでいく。

2. 社員の感染経路を特定し、感染防止や対策を徹底されたい。

A. 新型コロナウイルスの社員への感染に関する情報については、社員の個人情報の保護等を踏まえ、感染防止に必要な情報を提供している。

3. お客さま同士のトラブルが発生すると、現場社員だけでは対応できないことが予想されるが支社として対策はあるのか明らかにされたい。

A. 新型コロナウイルス感染症の対策等については、県や関係行政機関と連携し必要な対応を実施してきており、今後も感染防止に取り組んでいく。

4. 具合が悪くなったお客さまがいた場合、各駅ではどのような対応をすることとなっているのか。休憩場所等は準備できているのか明らかにされたい。

A. 新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、必要な対応を実施している。

団体交渉 ～あるべき姿とは～

「新型コロナウイルス」に関しての情報はユニオン組合員だけに留まらず、全社員が非常に関心を持っている。組合員から疑問や情報提供を求められる。組合はそれらをまとめ、会社に求めていくことが役割の一つだ。個人情報や厳格に取り扱わなければならないことは承知の上であるが、新型コロナウイルスに感染してしまった事を全て覆い隠してしまえば身も蓋もない。ましてや我々の業務の特性上、お客さまと接触が多い業種なのだから、社員の不安解消へも繋がるはずだ。感染予防対策には万全を期さなければならないのだが、その議論の問いに対して、個人情報を求めていないのに、その類と同一視して情報の提供をしないというのは組合軽視と言わざるを得ない。

「新型コロナウイルス」はこれまで誰も経験したことがないものであるがゆえに、様々な議論が労使間で行われることは、会社の存続と発展の上でも必要であるし、官僚的な答弁を繰り返さず「これまでとは違う状況下にある」という認識を共有し、これからもよりよい団体交渉にしていきたいと考える。